

明学だより

第 29 号
令和5年11月10日

発行者
兵庫県立明石学園
TEL 078(942)1572
FAX 078(941)1264

園長挨拶

園長 安井 洋一

気象庁が1898年に統計を始めて以来、気温が最も高かった夏も終わり、いま明石学園はイチョウの木が色づくなど秋が一日一日深まりつつあります。

4月から始まった令和5年度も折り返しを過ぎました。主な行事や活動から少し上半期を振り返ってみたいと思います。

まず、卓球部は、7月1日に行われた兵庫県下の児童養護施設の大会で、惜しくも優勝は逃しましたが、団体で2位と3位になるなど大健闘をみせてくれました。1月の近畿の大会での活躍を期待します。

野球部は、児童自立支援施設の近畿大会が7月5日に開催されましたが、直前に部員数名が新型コロナウイルスに感染してしまい、当日は卓球部から助っ人を出してもらい出場に漕ぎつけました。しかし、ベストメンバーのようにはいかず、雨の中1回戦で悔し涙を吞みました。

7月19・20日と家島で行ったサマ

ーキャンプでは、一人乗りシーカヤックで、キャンプ場の沖にある小島までの往復約3kmの“航海”に挑戦。夕食は寮ごとに趣向をこらした“キャンプ飯”を児童と職員が協力して作って食べるなど、有意義な時間を過ごせました。

9月15日の体育祭では、クラブ対抗のリレーや寮対抗の大縄跳びで一位を目指し競い合う一方、男子のデンマーク体操や女子のエイサーでは、全員で息の合った素晴らしいパフォーマンスをみせてくれました。

他にも盆踊り会、園内水泳大会など様々な行事や活動を行ってきました。どれをとってもそこには、練習や準備段階から一所懸命に取り組む子どもたちの生き生きとした姿、頑張っている姿がありました。こういった行事や活動、そして日々の寮の生活を通じて、チームワークや仲間同士のコミュニケーションの大切さ、協働すること、相手を思いやることなど、社会に出てから必要となるスキルを身に付けていてほしいと思っています。そして普段の生活の場面で生かしてほしいと願っています。

さて、中学3年生にとっては、これから大変大切な時期を迎えます。学園の職員、分教室の先生、原籍校の先生、

そして保護者の皆様方としつかり連携を取りながら、子どもたちが希望する進路に進めるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

最後に、明石学園では、行事や日々の生活の様子、支援の実施方法などを、分かりやすく保護者の皆様や関係者に知ってもらうため、この度ホームページをリニューアルしました。今後は外部サイトも活用しながら、人材確保にもつながるよう今までよりきめ細やかに情報発信していきますので、「兵庫 明石学園」で検索してご覧になってください。



分教室から

明石市立魚住中学校教頭 奥山 茂

少子高齢化やグローバル化、高度情報化がますます進展する中、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢など国際的にも不安定な状況が続く中、我々教職員は、子どもたちがこの明石学園でたくましく健やかに育ち、社会の担い手となるよう、学園の職員と協力しながら取り組んでいます。

早いもので、今年度も半分が過ぎました。子どもたちは様々な行事を通して成長しています。少し紹介しますと、1学期の終わりにはキャンプ実習をいえしま自然体験センターで行い、カヤックや自炊、散策などの体験活動を通して協調性や主体性を少しは身につけたと思います。また、トライやるウィークでは、(株)ATTEN、(有)キッズ、あつとほーむ2nd、株式会社佐伯(ふくろう)の4つの事業所が受け入れてくれ、働くことの意味、しんどさややりがいなどを伝えていただき、子どもたちは将来に向けてすごく良い経験がすることができました。

男子は野球部と卓球部に分かれ、それぞれで大会で持てる力を十分に発揮することができました。また、女子は最近行われた兵庫県下児童福祉施設バレーボール大会で見事優勝を果たしました。近畿児童自立支援施設バレーボール大会でも良い成績を残してくれることを願っています。今後、児童自立支援施設伝大会も控えており、応援するのが楽しみです。我々

はいつも、このような行事のたびに「感動」と「力」を子どもたちからいただいています。幸せです。

分教室では、今年度より各教室にスローガンを掲げました。それは「幸せになろう」です。

明石学園で職員からいっぱいの愛情を注がれ、我々教職員も個に応じた授業をタブレット等を活用し展開しています。ここで「生きる力」をしっかりと身につけさせ、ここを出たときに自立することができ本場に「幸せに」なってくれることを切に願っています。そのためには、それぞれの立場の大人が子どもたちを支援していかなければなりません。

最後になりますが、学園で生活を立て直し、自分を見つめ直し、よく学び、しっかりと成長させて、社会に送り出そうとしています。子どもたちが将来、自立したくましく社会で生活できるように、分教室では、学ぶことの大切さや学力を身につけさせ、明石学園で培った力が発揮できるように願っています。今後とも子どもたちへのご支援を引き続きお願いいたします。

★かき氷と短冊★
願い事が叶いますように。



着任挨拶

数学科 高尾 実

今年度4月より、数学科を担当しております高尾 実(たかお みのる)です。慣れない環境で戸惑うことも多々ありますが、みなさんにたくさんのお刺激をもらいながら毎日楽しく授業をさせていただいています。みなさんに、今よりも少しでも数学に興味を持つてもらえること、今よりもほんの少しでも数学を好きになってもらえることを目標に。また、「そうか」「あ、わかった」という声が、たくさん聞えてくる授業を目指して頑張ります。よろしくお願いたします。

新しい取り組み

S S T

心理士 星野 雄哉

適切な友人作りや大人との関わり等、対人関係の安定とトラブルの減少を目標に、挨拶や謝罪、お礼等の基礎を学びます。また人との距離感やアイコンタクト、相手の気持ちになって考える方法等、人間関係の継続に必要な応用スキルも練習していきます。

トラブルの減少や適切な友人関係は、学生生活の向上と、満足感の向上につながり、得意なことも含めた自分らしさの発揮にもつながると考えております。年間を通して全6回行い、生活スキルの定着を行って行く取り組みとなっております。

俳句

テーマは「秋」。子どもたちには、どんな秋がおとずれたのでしょうか。

木葉寮(男子)

このはりよう

歌声を 会場いっばい ひびかすぞ M・R
秋風が 木々をゆらして 花粉舞う T・H
今は秋 朝ラン走って ベストだぞ K・Y
紅葉たち 集めてやっても 降ってくる H・S

日が暮れて 紅く染まる 紅葉かな O・T

この秋も 食欲の秋 満腹だ

ごはん食べ 食欲の秋 幸せだ I・P・Y N・T

イチヨウ散る 掃き掃除する ぼくがいる Y・A

阪神は 38年ぶりの 優勝だ Y・S

実る秋 生徒一同 大成長 T・Y



葵寮(男子)

あおいりよう

起きざまに 露降るひけり 草の鹿 A・R
さつま芋 ほかほか熱いな おいしいな H・K
夜の空 月見しながら 餅食べよう E・Y

パリ五輪 日本選ばれ うれしいな T・R

秋の空 月夜に浮かぶ 星たちよ S・T

道歩く ひらりと揺れる 1枚のもみじ M・Y

キツツキが トントントンうるさい 秋の空 O・H

白梅寮(男子)

しろうめりよう

こうばしい さんまの匂い 食べたいな S・R

秋のもの おいしいけれど 本も良い M・R

団子食べ すすぎが揺れる 十五夜に O・A

もみじのね 赤色がとても 美しい G・K

もみじの葉 紅葉してる きれいだな M・T

毎日の 筋トレキツすぎ バッキバキ N・Y

こむぎちゃん 僕とたわむれうれしそう M・H

秋の風 肌寒いな ランニング K・R



初代園長像が
いつも見守っ
ています

さくら寮(男子)

夕暮の 澄んだ大空 僕は好き S・K
 あたたくく 落ち着く心ぬむくなる R・K
 秋の夜 鈴虫の声 大合唱 S・O
 楽しいな 皆が笑う 秋祭り R・O
 肌寒い 季節が変わり 紅葉でる M・K
 星月夜 すずむしリンリン 聞こえてる K・O
 紅色に 染まりはてた 紅葉かな A・Y
 秋の風 とても涼しい 落ち葉はき R・I
はるか寮(男子・中卒寮)
 秋祭り 歓喜溢れる 男たち A・T
 金色に 輝く紅葉 きれいな空 I・Y
 ここちよい 少し冷たい 秋の風 M・A

五月寮(女子)

もみじの葉 赤に染まるよカーペット I・N
 虫の声 涼しい夜に 大合唱 A・C
 夜の空 月見がとても うつくしい S・M
 きれいだな 秋の合唱 虫の声 M・N
 秋の夜 空に輝く 天の川 K・M
 虫の声 いい声の 合唱会 Y・E
 夏終わり 爽やかに吹く 秋風が M・M

行事報告

7月1日

養連卓球大会

団体戦：Aチーム準優勝
Bチーム3位



7月5日

近畿児童自立支援施設野球大会

1回戦敗退
(活動報告は後のページにあります)

7月31日

明石市少年野球大会

1回戦敗退

7月19日〜20日

サマーキャンプ

いえしま自然体験センターで1泊2日を過ごしました。夕ご飯を自炊したり、カヤックに乗って2km離れた島を1周してきたりするなど、日常では味わえない経験をたくさんしてきました。



7月24日〜28日

トライやるウィーク

車の整備工場やグループホームなど4事業所に、9名の児童が行ってききました。

児童の作文より

3日間本当にありがたうございました。私は将来、美容系に進んでいきたいと思っっているのです、見ている時すごく楽しかったです。お客さんと話をしてる事業所のみなさんを見てすごく楽しそうに話していて、やっぱり私はお客さんと楽しく話しをできる人になりたいし、接客業に勤めたいと思います。

M・K

7月31日 盆踊り会

今年も武中舞踊教室の方々が来てくださり、一緒に盆踊りを楽しみました。花火もあがり、楽しい夏の夜となりました。



8月24日

近畿児童自立支援施設水泳記録会

(活動報告は後のページにあります)

8月28日

園内水泳記録会

初めは全く泳げなかった子も、毎日の練習を通して泳げるようになりました。子どもたちの成長ぶりに驚かされる夏になりました。

9月10日

琉球祭り

神戸メリケンパークで行われた琉球祭りに、エイサー講師であるクイナの高橋さんご夫婦と一緒に出演させていただきました。女子児童がエイサーを披露しました。



9月15日

体育祭

好天のもと、障害物競争、大縄、綱引きなどの競技が行われました。男子

はデンマーク体操、女子はエイサーを披露しました。保護者や関係機関の皆様にも、子どもたちの日ごろの頑張りを伝えることができた、素晴らしい体育祭となりました。

児童の作文より

練習をあきらめずに頑張ったら大勢の人の笑顔が見られて拍手をもらえたことがとっても嬉しかったです。だから私は多くの笑顔が見れるように人のために動いて多くの人を笑顔にさせたいと思いました。

S・M

今では間違えたりすると悔しいという気持ちがあったり、エイサーしてきてよかったなって思います。そう思うのは、沖繩から来て教えてくださった大三さん歌ってくださいと教え続けてくださった係母先生がいるからだと思っています。

I・N



デンマーク体操の最後には、ペアの人と考えたポーズを披露しました。どのポーズもかっこよく出来ました！

10月5日

薬物乱用防止について

明石少年サポートセンターの方が薬物の恐ろしさについて、話をしに来てくださいました。

10月15日

近隣地区バレーボール大会

近隣地区のママさんバレーボール2チームと学園女性職員チームが試合をしました。地域交流にもなり、また女性職員のチームワークも高まりました。



野球部活動報告

野球部監督 山本 敬義

寒風吹きすさぶ昨年12月から野球部の活動は始まりました。

当初たどどしくボールを追いかけていた選手たちも少しずつボールに慣れ、春を迎える頃には野球に親しみ、野球を楽しむことができるようになってきました。

今年度もたくさんの方々に支えられ野球部の活動ができました。近畿地方の児童自立支援施設はもちろんのこと、西は岡山、南は高知の児童自立支援施設に胸を借り練習試合をしていただきました。また兵庫県のごども家庭センター有志、尼崎市中学校教員有志の方にも試合をしてもらい、たくさん激励してもらいました。昨年からお越しいただくようになったスキルコーチの菊池拓斗さんにもご指導いただき技術向上をはかりました。

練習試合ではエラーも三振もたくさんしました。何度も負けました。それでも目の前の現実に向き合い選手たちは着々と力をつけ、頼もしく成長してくれました。

近畿児童自立支援施設大会直前、複数の選手の新型コロナウィルス陽性が判明しました。大会出場も危ぶまれましたが、卓球部員の力も借りて試合をすることになりました。大会に参加できなかった子の無念も背負って闘おうと心をひとつに試合に臨みました。結果は力及ばず、初戦にて敗退しました。劣勢の状況が続

きました。でも試合前に話したとおり、選手たちはチーム一丸となって闘ってくれました。選手の中には大会前後、たくさん複雑な思いでいっぱいだったはずですが、監督としてどれだけ選手たちのそんな思いに寄り添えたのか、後悔ばかりが残りました。それでも野球部の活動の目的である、「野球を通じてひとまわり大きな人間になろう」を子どもたちはしっかりと達成してくれました。最後になりましたが、野球部の活動にご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。



水泳部活動報告

男子水泳部監督 遠藤 貴之

夏期シーズンの明石学園の男子生徒達は、大会目前のクラブ活動の追い込みの時期であり、農繁期であり、酷暑のなか、明石学園職員とともに大量の汗をかき、泥だらけになってこの時期を過ごしている。そんな中、プールの存在は非常に大きい。一つはアイシング。ほてった体をプールが冷やしてくれる。これによって、疲労回復がなされ、酷暑を乗り越えられるのです。もう一つは水泳指導です。クロール、バタフライ、平泳ぎ、背泳ぎのいわゆる4泳法取得を目指します。在園生の多くは、25 M泳げません。もつと言ったり「泳げます！」と言う生徒も正しい泳ぎが出来ません。そんな学園生たちが、今年度は近畿記録会に初参加しました。

男子水泳部を発足（男子生徒全員参加）し、クロールと平泳ぎ、その後は、大会に出る種目の練習をする。これを1ヶ月の間やってきました。全員がクロールで25 M泳げるようになりました。

8月24日午後神戸市立若葉学園プールで近畿児童自立支援施設4施設が集まって、寮対抗や施設対抗で記録会が行われました。寮ごとでのリレーや競泳種目で、緊張感ある中でベストタイムが連発され、特に寮対抗4×25 mリレーでは木葉寮が大会新記録で優勝しました。

水を怖がっていた生徒、泳ぐのが初めての生徒には明石学園職員が寄り添って、励ましながら指導しました。

恐怖心がとれ、25 m泳げると30本（往復）泳いだり出来るようになりました。そうやって少しずつ自信を持ち始めた生徒が、記録会では自分を信じて練習を信じて、頑張ろうと少々気負いながらも、入水する姿がすごく良かったです。

部員たちがひと回りもふた回りも大きくなってくれたこと、そして何よりも泳ぐことが好きだと言ってくれた生徒が増えたことがうれしい。



○行事予定

11月24日

近畿児童自立支援施設駅伝大会

(滋賀県希望が丘文化公園)

12月22日 終了式 クリスマス会

12月26日 餅つき会

12月28日 1月4日

冬季帰宅訓練

1月26日 近畿児童自立支援施設卓球

大会(男子)

2月2日 近畿児童自立支援施設卓球

大会(女子)

(一部予定に変更あり)



食文化体験では、親子丼の作り方を教わりました。卵を割るのも初めてで、緊張しました。毎回どんな料理を作るか楽しみです。



理念・基本方針

明石学園運営理念

私たち職員は、子どもたちを「変えよう」とするのではなく、子どもたち自身が「変わるう」とする気持ち・こころを育み、支援していきます。

基本方針

1. 生命の尊重

私たち職員は、子どもたち自身が自分を大切にすることでなく、他の人間も大切にし、生き甲斐を実感できるように支援します。

2. 子どもの最善の利益

私たち職員は、一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、学園での生活をおして、子どもの自立及び自己実現のために、子どもの生活の質の向上に努力します。

3. 子どもの権利擁護

私たち職員は、「児童の権利条約」を遵守し、いかなる差別・虐待・人権侵害、特に職員の子どもに対する体罰、子ども間のいじめ、暴力も許さず、子どものもので権利を擁護します。

4. 子どもの成長・発達への支援

私たち職員は、子どもが基本的な生活習慣や道徳観を身につけ、発達年齢に相応しい正義感や責任感が持てるよう支援します。

5. 子どもの自立への支援

私たち職員は、子どもの発達年齢に応じた学力や生活技術の習得、そして、子どもたちの能力や希望を尊重した進路選択を支援します。

6. 懲戒権の濫用の禁止

私たち職員は、いかなる場合においても、体罰及び心理的な苦痛を伴う罰や他児への見せしめ的な行為を、全職員の共通認識のもと、一切これを行いません。

7. プライバシーの尊重と

個人情報の保護

私たち職員は、一人ひとりの子どもや保護者のプライバシーを尊重するとともに、職務上知り得た個人情報を守ります。



家庭科部作
エコバッグ

陶芸部作
箸置き



近隣地区親善
バレーボール
大会の参加賞
を家庭科部、
陶芸部が制作
してくれました。

【編集後記】

暑い夏を乗り越え、子どもたちの心と体は、またひとまわり大きく成長しています。学園祭の発表を通して、子どもたちの内面の豊かさが表現できたら幸いです。

着任の挨拶原稿をいただいていたのですが、前号に掲載できなかったこと、この場を借りて深くお詫び申し上げます。

(手島 梓)